

2020年

区分：美容専門課程

教科名	関係法規・制度	必修	単位	1単位	時間数	30時間
担当者	原 泉里	実務経験	無	火曜日	2時間	
授業の概要	美容師法と関係法規との関連					
履修ポイント	法律を守る意味を知り、安全かつ衛生的に業務を実践し、公衆衛生に貢献する					
学習の目的	免許の意義、業務の適正化の理解					
学習の目標	文章、条文の理解					
教科書及びその他の教材	日本理容美容教育センター教科書					
成績評価	各学期末テスト					

## 授業計画 【関係法規・制度】 1年

回	項目	授業内容	備考
1	法律の概要	法の役割・形式・衛生法規	
2	衛生行政の概要	衛生行政と保健所について	
3	美容師法	目的、用語の定義	
4	人に関する規定	養成施設、試験	
5		免許	
6		美容師の義務	
7		免許変更手続き、管理美容師	
8	履修確認	テスト	
9	施設に関する規定	開設届、検査確認	
10		衛生措置、立入検査	
11	行政処分・罰則	不利益処分、両罰規定	
12	関連法規	運営、衛生、消費者保護関連	
13	美容師法の歴史	歴史	
14	まとめ	全体のまとめ	
15	履修確認	テスト	

2020年

区分：美容専門課程

教科名	衛生管理 <small>(公衆衛生) (感染症)</small>	必修	単位	2単位	時間数	60時間
担当者	原 泉里	実務経験	無	金曜日	2時間	
授業の概要	健康を考える 安全を考える					
履修ポイント	健康を保つ大切さと自身だけのことではなく広く国民の健康と影響を考える					
学習の目的	公衆衛生の理解 感染症の知識を持つ					
学習の目標	自分の体を通して公衆衛生を理解する					
教科書及びその他の教材	日本理容美容教育センター教科書					
成績評価	各学級末テスト 小テスト					

## 授業計画 【衛生管理（公衆衛生）】 1年

回	項目	授業内容	備考
1	公衆衛生の概要	意義と課題	
2		発展の歴史	
3		消毒法の歴史 美容師と公衆衛生	
4		保健所と美容業	
5	保健	母子保健	
6		成人、高齢者保健①～④	
7		成人、高齢者保健⑤～⑪	
8		成人、高齢者保健⑫	
9		精神保健	
10	環境衛生の概要	概要	
11		空気と健康	
12		温度、湿度、気流と健康	
13		衣服の衛生、住居の衛生	
14		上水道、下水道	
15		衛生害虫とネズミ、水質汚染	

## 授業計画 【衛生管理（感染症）】 2年

回	項目	授業内容	備考
1	人と感染症	発見の歴史、法律	
2		感染症の分類	
3	病原微生物	種類、構造	
4		増殖と環境の影響	
5	感染症の予防	病原性と感受性、常在細菌叢	
6		免疫と予防接種、発症要因	
7		感染症予防の三原則	
8	感染症各論	結核～インフルエンザ	
9		新型インフルエンザ～風疹	
10		細菌性赤痢～B型肝炎	
11		C型肝炎～デング熱	
12	具体的な対策の例	各対応と対策	
13	一編まとめ	小テスト	
14	二編まとめ	小テスト	
15	三編まとめ	小テスト	

2020年

区分：美容専門課程

教科名	衛生管理（消毒）	必修	単位	1単位	時間数	30時間
担当者	岡崎 昭則	実務経験	無	木曜日	1時間	
授業の概要	教科書に従い授業を行う。10コマ終了後ワーク、練習問題により習熟度を把握する。期末には国家試験に即した試験を実施する。					
履修ポイント	各種消毒方法の理解、消毒薬の希釈法及び計算の理解、美容所での消毒方法の理解					
学習の目的	美容業務と消毒との関係を理解させ、感染症を防止するための消毒法を習得させる。					
学習の目標	消毒方法の消毒薬の作り方を覚え、国家試験に合格できる知識を得る。					
教科書及びその他の教材	日本理容美容教育センター教科書 ワークブック・問題と解説					
成績評価	期末試験、授業評価、確認テスト					

## 授業計画 【衛生管理（消毒）】 2年

回	項目	授業内容	備考
1	消毒法総論	消毒とは、消毒の意義	
2	”	美容の業務と消毒の関係	
3~4	”	消毒法と適用上の注意	
5	消毒法各論	物理的消毒法	
6		物理的消毒法・化学的消毒法	
7		化学的消毒法、優れた消毒法と実施上の注意	
8		練習問題（復習）ワークブック	
9	消毒法実習	各種消毒薬	
10		消毒薬希釈法	
11		希釈の計算方法	
12		美容所の消毒の実際	
13		美容所の清潔法の実際	
14		練習問題（復習）ワーク	
15	学期末試験		

2020年

区分：美容専門課程

教科名	保健	必修	単位	3単位	時間数	90時間
担当者	市山 倫子	実務経験	無	火・水曜日	1時間	
授業の概要	人体の構造と機能 皮膚科学					
履修ポイント	健康の増進と疾病の予防					
学習の目的	人体構造、機能に関する科学的知識を美容技術との関係 皮膚・毛髪の構造の基礎知識の習得					
学習の目標	頭部を中心に人間の美に関わる美容師に必要な情報生理解剖学の基本知識の習得 皮膚・毛髪に関する深い知識の習得 国家試験合格					
教科書及びその他の教材	日本理容美容教育センター教科書 ワークブック・問題と解説					
成績評価	期末試験、確認テストの総合 単位認定60点以上					

## 授業計画 【保健】 1年

回	項目	授業内容	備考
1	序論	保険を学ぶにあたって	
2	第1章		
3	頭部・顔部・頸部の体表解剖学	人体各部の名称	
4		東部・顔部・頸部の体表解剖学	
5	第2章 骨格器系	骨の種類と構造	
6		骨の連結	
7		骨格器系とその働き	
8	総合学習	第1章・第2章	
9	第3章 筋系	筋の種類とその特徴	
10		主な骨格筋とその働き	
11		"	
12		表情筋と表情運動/理容・美容の作業と筋疲労	
13	第4章 神経系	神経系の成り立ち	
14		中枢神経とその働き	
15		末梢神経とその働き	
16	総合学習	第3章・第4章のまとめ	
17	第5章 感覚器系	視覚	
18		聴覚・平衡感覚	
19		味覚・臭覚・皮膚感覚	
20	第6章 血液・循環器系	血液のあらまし	

## 授業計画 【保健】 1年

回	項目	授業内容	備考
21	血液・循環器系	血液循環の仕組み	
22		血液の循環経路/心臓と血管の働き	
23		リンパ管系の仕組みと働き	
24	総合学習	第5章・第6章のまとめ	
25	第7章 呼吸器系	呼吸器系のあらまし	
26		気道	
27		肺の仕組みとガス交換/呼吸運動	
28	第8章 消化器系	消化器系のあらまし	
29		消化管の仕組み	
30		消化管の働き/消化と物質代謝	
31	総合学習	第7章・第8章のまとめ	
32	第2編 第1章 皮膚の構造	皮膚の表面/皮膚の断面	
33		表面	
34		“ /表皮と真皮の境	
35		真皮	
36		皮下組織/皮膚の部位差	
37	第2章 皮膚付属器官の構造	体毛・毛髪について	
38		脂腺/汗腺	
39		爪について	
40	総合学習	第1章・第2章 まとめ	

## 授業計画 【保健】 1年

回	項目	授業内容	備考
41	第3章 皮膚の循環器系と神経	皮膚の血管/皮膚のリンパ管/皮膚の神経	
42	第4章 皮膚と皮膚付属器官の生理機能	対外保護作用	
43		知覚作用と皮膚反射	
44		分泌物作用	
45		呼吸作用/吸収作用	
46		貯蔵作用/免疫・解毒・排泄作用	
47		再生作用/毛の働き/爪の働き	
48	総合学習	第3章・第4章 まとめ	
49	第5章 皮膚と皮膚付属器官の保健	皮膚と全身状態/皮膚と精神	
50		皮膚と栄養/皮膚と嗜好品	
51		皮膚と体内病変	
52		皮膚の水分と脂の状態	
53		皮膚・付属器官とホルモン	
54		皮膚の保護と手入れ	
55		毛の保護と手入れ	
56		爪の保護と手入れ	
57		子供のおしゃれによる皮膚トラブル	
58	総合学習	第5章 まとめ	

## 授業計画 【保健】 2年

回	項目	授業内容	備考
1	第6章 皮膚と皮膚付属器官の疾患	皮膚の異常とその種類	
2		"	
3		皮膚疾患の原因/皮膚疾患の治療法	
4		皮膚炎と湿疹	
5		"	
6		"	
7		"	
8		口唇の疾患	
9		温熱・寒冷による皮膚障害	
10		角化異常による皮膚疾患	
11		色素異常による皮膚疾患	
12		血管腫・脂腺母斑・下肢静脈瘤	
13		分泌異常による皮膚疾患	
14		"	
15		化膿菌による皮膚疾患	
16		ウイルスによる皮膚疾患	
17		真菌による皮膚疾患	
18		衛生害虫による皮膚疾患	
19		感染症による皮膚疾患の予防	
20		毛と爪の疾患	

## 授業計画 【保健】 2年

回	項目	授業内容	備考
21		"	
22		"	
23		皮膚の腫瘍	
24	総合学習	第6章 まとめ	
25	人体の構造及び機能	復習/練習問題/ワーク	
26		"	
27		"	
28		"	
29		"	
30	皮膚科学	復習/練習問題/ワーク	
31		"	
32		"	

2020年

区分：美容専門課程

教科名	化粧品化学	必修	単位	2単位	時間数	60時間	
担当者	岡崎 昭則	実務経験	無	木曜日	1年次	2時間	2年次 1時間
授業の概要	教科書に従い授業を行う。10コマ終了後、ワーク、練習問題により習熟度を把握する。期末には国家試験に即した試験を実施する。						
履修ポイント	法的規則・化粧品の原料とその性質						
学習の目的	化粧品の法的規則、化粧品に含まれる様々な化学物質の性質や副作用、また使用方法等について学ぶ。						
学習の目標	化粧品の成分、役割を理解させ、国家試験に合格できる知識を得る。						
教科書及びその他の教材	日本理容美容教育センター教科書 ワークブック・問題と解説						
成績評価	期末試験、授業評価、確認テスト						

## 授業計画 【化粧品化学】 1年

回	項目	授業内容	備考
1	基礎化学	物質の構造、物質の構成	
2		溶解とコロイド	
3		イオンと水素イオン指数 (pH)	
4		物質の変化と化学反応	
5		酸化還元反応、タンパク質	
6		練習問題 (復習) ワーク	
7	化粧品概論	社会的意義と品質特性 化粧品の規制	
8		安定性と取り扱い上の注意点 化粧品と安全性	
9		練習問題 (復習) ワーク	
10	期末試験		
11	化粧品用原料	化粧品の対象となる人体各部	
12		水性原料、油性原料	
13		界面活性剤 (基本的性質)	
14		界面活性剤 (種類)	
15		界面活性剤 (化粧品への応用)	
16		高分子化合物	
17		練習問題 (復習) ワーク	
18		色材 香料	
19		その他の配合成分 (防腐、殺菌剤、酸化防止剤)	
20		その他の配合成分 (保湿剤、紫外線吸収剤)	

## 授業計画 【香粧品化学】 1年

回	項目	授業内容	備考
21		その他の配合成分（収れん剤、特殊成分）	
22		ネイル、まつ毛エクステンション用材料	
23		練習問題（復習）ワーク	
24	期末試験		
25	基礎化粧品	皮膚清浄用香粧品	
26		化粧水、クリーム、乳液	
27		その他基礎香粧品	
28		練習問題（復習）ワーク	
29	期末試験		
30		試験問題の解説	

## 授業計画 【香粧品化学】 2年

回	項目	授業内容	備考
1	頭皮・毛髪用香粧品	シャンプー剤	
2		スタイリング剤	
3		パーマ剤	
4		ヘアカラー剤	
5		育毛剤	
6	芳香製品と特殊香粧品	芳香製品、特殊香粧品	
7		練習問題（復習）ワーク	
8	期末試験		
9		試験問題の解説	

2020年

区分：美容専門課程

教科名	文化論	必修	単位	2単位	時間数	60時間
担当者	熊野 正人	実務経験	無	木曜日	2時間	
授業の概要	理美容業の歴史、日本のファッションの歴史、礼装の種類、西洋のファッションの歴史を教科書をベースに知識を身に付け、歴史上の人物や出来事、現代との比較等を踏まえ、理解を深める。授業の後半でまとめのプリントを実施し、理解度を確認する。					
履修ポイント	各時代の代表的なヘアスタイル、メイクファッションを知り時代のを把握する					
学習の目的	ヘアスタイルを学ぶことで、今までのデザインを理解し今後求められるデザインの発想力を養う。					
学習の目標	理美容業の成り立ちや各時代の代表的なヘアスタイル、メイク、ファッションの知識を身に付け、説明できるようになる。 礼装の種類やマナーの知識を身に付けさせる。					
教科書及びその他の教材	日本理容美容教育センター教科書 ワークブック・問題と解説					
成績評価	期末テスト、確認テスト、及び授業態度等踏まえて評価する					

## 授業計画 【文化論】 1年

回	項目	授業内容	備考
1	総論	理容・美容の語義 造形要素・仕事について	
2	日本の理容業・美容業の歴史 第1節・第2節 第1節 ・第2節	髪結床、女結髪について 江戸時代の理美容業について	
3	日本の理容業・美容業の歴史 第3節・第4節	明治～現代の理美容業について	
4	ファッション文化史 日本編 第1節 縄文・弥生・古墳時代	当時のヘアスタイル、メイク、ファッションについて	
5	第2節 古代（飛鳥・奈良・平安時代）	”	
6	第3節 中世 (平安末・鎌倉・室町・戦国時代)	”	
7	第4節 近世I (戦国末・安土桃山時代)	”	
8	第5節 近世II（江戸時代）	”	
9	第6節（明治時代）	”	
10	”（大正時代）	”	
11	”（昭和20年まで）		
12	第7節 現代I (1945年～1950年)	”	
13	第8節 現代II (1960年～1970年)	”	
14	第9節 現代III (1980年～1990年)	”	
15	第10節 現代IV (2000年以降)	”	

## 授業計画 【文化論】 2年

回	項目	授業内容	備考
1	礼装の種類 和装の礼装	花嫁の礼装・女性の礼装、準礼装・男性の礼装	
2	“ 洋装	女性・男性の礼装	
3～4	ファッション文化史 西洋編 第1節古代エジプト・第2節古代ローマ・ギリシャ	当時のヘアスタイル、メイク、ファッションについて	
5	第3節 古代ゲルマン 第4節 中世ヨーロッパ	“	
6	第5節 近世Ⅰ（16世紀）	“	
7	第6節 近世Ⅱ（17世紀）	“	
	第7節 近世Ⅲ（18世紀）		
8	第8節 近代Ⅰ （18世紀末～19世紀初め）	“	
9	第9節 近代Ⅱ（19世紀）	“	
	第10節 現代Ⅰ （1910年代～1920年代）		
10	第11節 現代Ⅱ （1930年代～1940年前半）	“	
11	第12節 現代Ⅲ （1940年後半～1950年代）	“	
12	第13節 現代Ⅳ （1960年代）	“	
13	第14節 現代Ⅴ （1970年代）	“	
14	第15節 現代Ⅵ （1980年代）	“	
15	第16節 現代Ⅶ （1990年～2010年）	“	

2020年

区分：美容専門課程

教科名	美容技術理論	必修	単位	5単位	時間数	150時間
担当者	伊澤 裕美	実務経験	有	1年次 水曜日	2時間	2年次 水曜日
授業の概要	美容技術を論理的に解説。 全ての項目について技術が伴うものであるため、実際に体験させながら進めていく。 【実務経験】美容師として、美容所勤務の経験					
履修ポイント	体験することによって、理論の大切さを理解させる					
学習の目的	技術には理論が伴うこと、また、理論の必要性を教科書に沿って実技見せながら 学生たちにも体験させながら理解を深める。					
学習の目標	正確な技術をみにつけさせるため、理論と基礎を理解させる。 卒業後、即戦力となれるよう、美容に関する幅広い知識を習得させる。					
教科書及びその他の教材	日本理容美容教育センター教科書 ワークブック・問題と解説					
成績評価	期末試験、授業評価、確認テスト 単位修得状況					

## 授業計画 【美容技術理論】 1年

回	項目	授業内容	備考
1	第1章 美容技術概論・基本的な姿勢	理論の必要性 美容とは・美容技術を行うにあたって大切なこと	
2	美容用具について	美容用具の特徴と名称の理解	
3		美容用具を実際に使ってみて、美容用具の必要性を理解	
4		美容用具機械において、その取扱い方とどのような効果があるかを説明説明	
5		第1章 確認テスト	
6	第2章 シャンプー	シャンプー理論 シャンプー剤の種類	
7		毛髪タイプ別シャンプー剤の種類 毛髪の汚れ、傷みの原因	
8		シャンプー剤、リンス、コンディショナー、トリートメントの成分と違い	
9		スカルプトリートメントの種類と効果について 頭皮タイプ別トリートメントの種類と違い	
10		相モデルでスカルプマッサージを行う 手技と効果について 第2章 確認テスト	
11		学期末テスト	
12		学期末テストの解答と解説	
13	第3章 ヘアデザイン	錯視図や動画を見て楽しさを与える ヘアスタイルのバランスについて	
14		実際に色々なパターンのヘアスタイルを作って 学生たちからのコメント、アドバイスを出し合う	
15		ヘアデザイン画の作成	
16	第4章 ヘアカット	美容刃物の材料、美容刃物に適した条件	
17		カットの定義、目的、カットに関する 道具類の説明と正しい姿勢について	
18		カットの際のブロッキングとスライスの種類 ラインの選定方法・顔面ポイントとの関係	
19		ベーシックなカット技法の種類と解説 シザーズによるカット技法と特徴の説明	
20		シザーズによるカットをデモンストレーションを交えながら体験	ウィッグで実際に カットをする

## 授業計画 【美容技術理論】 1年

回	項目	授業内容	備考
21		レーザーによるカット技法の種類と特徴の説明 デモンストレーションを交えながら体験	ウィッグで実際に レーザーカットをする
22		第4章全体の復習 第4章 確認テスト	
23	第5章 パーマネントウェーブ	パーマネントウェーブの歴史と形成の仕組み パーマ剤の種類と成分、その特徴について	
24		パーマネントウェーブ技術の手順と同時に注意事項の 説明とロッドの選定とプレ処理について	
25		縮毛矯正剤について 第5章 確認テスト	
26	第6章 ヘアセッティング	ヘアセッティングとは～ヘアウェーピング ヘアウェーブの各部の名称 ウェーブとピンカールの関係	
27		カールの各部の名称 カールの分類を実技と比較しながら 説明 カールスペースの名称と特徴	
28		カールピニングと各種カールの説明 ヘアセッティング 確認テスト	
29		ローラーカーリングの特徴 ローラーカーリングとホットカーラーの違いについて	実際にローラーカールとホットカー ラーを巻いてみる
30		ヘアアイロンについて 第6章 確認テスト	
31	第7章 ヘアカラー	ヘアカラー剤の種類と特徴を染毛のメカニズムを参照しな がら進める	
32		パッチテストの必要性 カラー剤の成分	
33		染毛剤使用時の注意事項について カラーサークル作成	
34		アンダートーンについて 相モデルで毛髪診断 毛髪チェックシートを使用して希望職の選定	
35		ヘアブリーチについて 第7章確認テスト	

## 授業計画 【美容技術理論】 2年

回	項目	授業内容	備考
1	第8章 エステティック	エステティックとは カウンセリングの必要性	
2		確認テスト	
3		マッサージ理論 基本手技の種類と特徴	
4		確認テスト	
5		フェイシャルケアの手順と方法 フェイシャルパックの種類と特徴	
6		確認テスト	
7	第9章 ネイル技術	ネイル技術の種類 爪の構造と働きについて	
8		確認テスト	
9		爪のカット形状と特徴 消毒の定義 爪の病気について	
10		確認テスト	
11		ネイル道具の説明と使用方法の確認 ネイルケアの手順と確認	
12		確認テスト	
13		手と足のマッサージ手順と注意点 ハンドマッサージを相モデルで行う	
14	第10章 メイクアップ	顔のプロポーション 立体感を出すファンデーションの塗布	
15		メイクアップ道具の取扱い方と特徴	
16		期末テスト	
17		期末テストの解答と解説	
18		スキンケアの手順	
19		メイクアップベース ファンデーションの種類と特徴	
20		ハイライト・ローライトについて ポイントメイクアップ	

## 授業計画 【美容技術理論】 2年

回	項目	授業内容	備考
21		確認テスト	
22		確認テストの解答と解説	
23		まつ毛エクステーション まつ毛エクステーションの注意点	
24	第11章 日本髪	日本髪の種類と特徴 日本髪の各部の名称	
25		日本髪の結髪道具 結髪技術の手順	
26		確認テスト	
27		確認テストの解答と解説	
28	第12章 着付けの理論と技術	礼装について 既婚女性・未婚女性・男性の礼装	
29		着物の生地について	着物の生地を実際に見る 様々な着物を準備
30		着物の種類と季節	
31		確認テスト	
32		期末テスト	
33		期末テストの解答と解説	
34		帯の種類と特徴 着付けに関わる小物類	帯の種類を実際に見てもらう 全て実際の物を見てもらう
35		着物の各部の名称 着物のたたみ方と種類	
36		着付けの際の注意点 補整について	
37		確認テスト 確認テストの解答と解説 婚礼衣装と着付けについて	
38		確認テスト	
39		確認テストの解答と解説	
40		国家試験対策授業	

2020年

区分：美容専門課程

教科名	運営管理	必修	単位	1単位	時間数	30時間
担当者	原 泉里	実務経験	無	火曜日	1時間	
授業の概要	経営について学ぶ					
履修ポイント	経営を通じて、経営者の考えや従業員の立場を理解する					
学習の目的	経営者の考え、人を雇う、顧客満足のために学ぶ					
学習の目標	経営を通して、働く意義を考える					
教科書及びその他の教材	日本理容美容教育センター教科書					
成績評価	各学期末テスト 小テスト					

## 授業計画 【運営管理】

回	項目	授業内容	備考
1	経営者の視点	経営が必要とされる理由	
2		経営とは	
3		経営戦略	
4		美容業の経営	
5		資金の管理	
6		コストを管理、税金について	
7	人という資源	人の能力を高める	
8		給与、待遇、福利厚生	
9		健康管理	
10		健康課題	
11		従業員の視点から	
12		社会保険	
13		"                      キャリアプラン	
14	顧客のために	サービス、デザイン	
15	学期末テスト		
16	顧客のために	顧客満足のためのシステム	
17		顧客が求めるもの	
18		マーケティング	
19		マーケティング、ミックスの要因	
20		"	

## 授業計画 【運営管理】

回	項目	授業内容	備考
21	顧客のために	”	
22		サービスにおける役割	
23		実践①～③	
24		実践④、⑤	
25		接客におけるトラブルテクニック対応	
26		クレーム	
27		問題の対策、対処	
28	一編まとめ	プリント	
29	二編まとめ	プリント	
30	三編まとめ	プリント	

2020年

区分：美容専門課程 1年度

教科名	美容実習	必修	単位	30単位	時間数	900時間（2年間）
担当者	市山 倫子	実務経験	有	月～金	月6時間・火～金3時間	
授業の概要	ワインディング オールウェーブ 【実務経験】美容師として、美容所勤務の経験					
履修ポイント	学生大会などの目標を設定して基礎を重点的に指導する					
学習の目的	構成の理解と正確な技術の習得					
学習の目標	ワインディング・スライス、巻き方つながりの理解と正確な技術の習得 オールウェーブ・ウェーブ技術の習得、ピンカールの種類とつながりを理解させる					
教科書及びその他の教材	日本理容美容教育センター教科書					
成績評価	単位修得状況 実技試験 60点以上					

## 授業計画 【美容実習】 1年

回	項目	授業内容	備考
1	器具・用具について	器具・用具の名称・準備方法・コーミング	
2	ワインディング ブロッキング (デザイン巻き)	ブロッキングの取り方 (1 2ブロック)	
3		"	
4	上巻き	ブロッキング (15分) 上巻き技術	
5		"	
6		ブロッキング (1 5分) 下巻き技術	
7		"	
8		ブロッキング (1 0分) センターを巻く	
9		"	
10	フロント	フロントのスライスの取り方角度、巻き方	
11	右サイド	バックサイドのスライスの取り方、角度、巻き方	
12		"	
13	左サイド	"	
14		"	
15	全頭	ブロッキング (1 0分) 全頭を巻く	
16		ブロッキング (8分) 全頭を巻く	
17		ブロッキング (8分) 毛髪を正しいスライス、 角度で巻く	
18		"	
19		"	
20	確認テスト	見極めテスト	

## 授業計画 【美容実習】 1年

回	項目	授業内容	備考
21	ワインディング	正しいスライス、角度で時間内に全頭を巻く	
22		"	
23		"	
24		"	
25	確認テスト	全体のバランス、角度の確認	
26		正しいスライス、角度、フロントのスライス確認	
27		"	
28		"	
29		"	
30	確認テスト	全体のバランス、角度の確認	
31		正しいスライス、角度、フロントのスライスの正確さ タイムの短縮	
32		"	
33		"	
34	確認テスト	全体のバランス、角度の確認	
35		全体の構成、バランスの確認 短縮の短縮	
36		"	
37		"	
38		"	
39		"	
40	確認テスト	全体の構成、バランスの確認	
41		正しいスライス、ステムの角度、ラバーのねじれ等 の確認      タイムの短縮	

## 授業計画 【美容実習】 1年

回	項目	授業内容	備考
42	確認テスト	"	
43		"	
44		"	
45		"	
46	確認テスト	全体の構成、バランスの確認	
47	期末テスト		
48	オールウェーブ 器具・用具について	器具・用具の名称、準備方法、ローション塗布	
49	ウェーブ、リッジ作成	ウィッグのシェーピング（半円を作る） フィンガーウェーブ技術	
50		" リッジ作成技術	
51		"	
52		フロント・馬蹄形の作成	
53		"	
54		7段構成の1段目～2段目・フィンガーウェーブ リッジ作成	
55		"	
56		1段目～3段目	
57		"	
58		1段目～4段目	
59		"	
60		1段目～5段目	
61		"	
62		1段目～6段目	

## 授業計画 【美容実習】 1年

回	項目	授業内容	備考
63	ウェーブ、リッジ作成	1段目～6段目	
64	基礎技術構成 クロッキノールカール	1段目～6段目フィンガーウェーブ 7段目クロッキノールカールの作成	
65		"	
66		"	
67	フィンガーウェーブ構成 クロッキノールカールの確認	フィンガーウェーブ構成、クロッキノールカール 作成確認	
68	フィンガーウェーブ・ クロッキノールカール	全頭タイム40分	
69		"	
70		"	
71	確認テスト	ウェーブ構成のチェック シェーピング、リッジ、クロッキノールカールの確認	
72	スカルプチュアカール 理論と基礎技術	オールウェーブ1段目のスカルプチュアカール作成	
73		"	
74		1段目～2段目 ピンカールとウェーブの構成について	
75		"	
76		1段目～3段目 ピンカールとウェーブの構成について	
77		"	
78	リフトカール（右）	1段目～4段目 リフトカールの作成	
79		"	
80		1段目～5段目 リフトカール（左）	
81		"	
82	構成、技術確認	全体の構成の確認	
83		仕上げ	

## 授業計画 【美容実習】 1年

回	項目	授業内容	備考
84	全体の仕上げ・確認	全頭タイム (40分)	
85		"	
86	確認テスト	全体の構成、ピンカールとウェーブの繋がり チェック	
87	期末テスト		
88	ワインディング オールパーパス	ブロッキングの取り方10ブロック	
89		ブロッキング (5分) スライスの幅、角度の確認	
90		"	
91		バックサイド "	
92		"	
93		サイド "	
94		"	
95		全頭を巻く	
96		"	
97		"	
98		全頭タイム (60分) "	
99		"	
100		"	
101	確認テスト	全体のバランス、構成の確認	
102		全頭タイム (50分)	
103		"	
104		"	

## 授業計画 【美容実習】 1年

回	項目	授業内容	備考
105	確認テスト	全頭タイム (50分)	
106	確認テスト	全頭タイム (50分) 全頭のバランス、構成の確認	
107		"	
108		"	
109		"	
110		"	
111	確認テスト	全頭タイム (40分) 全体のバランス、構成の確認	
112		"	
113		"	
114		"	
115		"	
116	確認テスト	全頭タイム (35分) 全体のバランス、構成の確認	
117		"	
118		"	
119		"	
120	確認テスト	全頭タイム (35分) 全体のバランス、構成の確認	
121		"	
122		"	
123		"	
124	確認テスト	全体のバランス、構成、正確さの確認	
125		全頭タイム (30分)	

## 授業計画 【美容実習】 1年

回	項目	授業内容	備考
126	確認テスト	全頭タイム (30分)	
127		"	
128		"	
129	確認テスト	全体のバランス、構成、正確さの確認 全頭タイム (25分)	
130		"	
131		"	
132		"	
133		国家試験対策授業内容	
134		"	
135		"	
136		"	
137		"	
138		"	
139		"	
140		"	

2020年

区分：美容専門課程 2年度

教科名	美容実習	必修		単位	30単位 <th>時間数</th> <td>900時間（2年間）</td>	時間数	900時間（2年間）
担当者	松家 依里	実務経験		有	月～金	1学期：月～金6時間 2学期：月6時間火～金3時間 3学期：月～金6時間（国家試験まで）	
授業の概要	ワインディング オールウェーブ カット 【実務経験】美容師として、美容所勤務の経験						
履修ポイント	県競技会、学生大会を意識して指導する						
学習の目的	国家試験に必要な基礎を徹底して学ぶ 衛生面に関する技術、知識を身につける						
学習の目標	国家試験の合格						
教科書及びその他の教材	日本理容美容教育センター教科書						
成績評価	衛生と技術の解説 実技試験60点以上						

## 授業計画 【美容実習】 2年

回	項目	授業内容	備考
1	衛生の準備について	衛生的に準備（8分）	
2	ワインディング ブロッキング	コーミング、ブロッキング（1分）	
3～10	全頭の完成	衛生的に準備（8分） 全頭タイム（30分） ブロッキング（1分） 衛生、器具の取り扱いの注意 衛生（使用中）に気を付ける	
11	確認テスト	チェックテスト（30分）	
12～20	全頭の完成 正確さ、綺麗さ、速さ	衛生的に準備（8分）  全頭タイム（25分） ブロッキング（1分） 1回の動作の短縮 センターを特に注意 ペーパーの取り方	
21	確認テスト	チェックテスト（25分）	
22～32	全頭の完成 正確さ、綺麗さ、速さ	衛生的に準備（8分） ブロッキング（1分） 全頭タイム（20分） 全体のバランスと時間配分を考える 構成に注意して巻く	
32	確認テスト	確認テスト（20分） 国家試験合格レベルに仕上げる	
33～43	ウェーブ全頭構成	理論と基礎技術 フィンガーウェーブ シェーピング（半円周） リッジを作る ピンカール	
44	確認テスト	チェックテスト（40分）	

## 授業計画 【美容実習】 2年

回	項目	授業内容	備考
45~50	ウェーブ全頭作成	理論と基礎技術 フィンガーウェーブ シェーピング (半円周) リッジを作る ピンカール	
51	確認テスト	チェックテスト (30分)	
52~58	ウェーブ全頭作成	理論と基礎技術 フィンガーウェーブ シェーピング (半円周) リッジを作る ピンカール	
59	確認テスト	チェックテスト (25分)	
60~67	カット	理論と基礎技術ブロッキング (1分) 全体のつながり ヘムライン 長さの確認	
68	確認テスト	チェックテスト (40分)	
69~75	カット	理論と基礎技術ブロッキング (1分) 全体のつながり ヘムライン 長さの確認	
76	確認テスト	チェックテスト (30分)	
77~79	カット	理論と基礎技術ブロッキング (1分) 全体のつながり ヘムライン 長さの確認	
80	確認テスト		

2020年

区分：美容専門課程 1年度

教科名	エステティック	必修	単位	1単位	時間数	30時間
担当者	市山 倫子	実務経験	無	水曜日	3時間	
授業の概要	エステティック					
履修ポイント	相モデルによる肌質判断とマッサージ技術の習得					
学習の目的	エステティック技術の習得 (フェイシャルケア)					
学習の目標	マッサージの基本手技の種類と技術の習得 肌質にあったマスクの選択と塗布					
教科書及びその他の教材	日本理容美容教育センター教科書					
成績評価	確認試験 授業評価					

## 授業計画【エステ】

回	主題（項目）	授業内容	備考
1	理論	エステティック概論 健康な皮膚の条件	
2	クレンジング実技	ポイントメイク落とし ハンドクレンジング、スポンジふき取り	
3	マッサージ実技	クレンジング～フェイシャルマッサージ 1	
4		クレンジング～フェイシャルマッサージ 2	
5		クレンジング～フェイシャルマッサージ 3	
6	スチーマー	スチーマーの目的、使用方法 クレンジング～	
7	スキンチェック	スキンチェック項目を、肌質の判断 クレンジング～	
8	マスク	マスクの種類、使用方法 クレンジング～	
9	フェイシャルトリートメント	クレンジング～マスクのふき取り	
10	フェイシャルトリートメント	クレンジング～マスクのふき取り 技術確認	

2020年

区分：美容専門課程 2年度

教科名	エステティック	選択必修	単位	1単位	時間数	30時間
担当者	市山 倫子	実務経験	無	水曜日	3時間	
授業の概要	フェイシャルエステティック					
履修ポイント	相モデルによる肌質判断とマッサージ技術の習得					
学習の目的	サロンエステの一般知識 フェイシャルエステティックの基本的なハンドテクニックの習得					
学習の目標	クレンジング～マスク仕上げが正確に行えること 消毒、衛生管理等の知識の習得 SBS試験に合格					
教科書及びその他の教材	SBSエステティックテキスト					
成績評価	最終確認時の技術習得度 SBS試験					

## 授業計画【エステ】

回	主題（項目）	授業内容	備考
1	消毒 マッサージ	消毒の種類と使用方法 マッサージの基本手技の確認	
2			
3	スチーマー	スチーマーの目的と使用方法の確認	
4	スキンチェック・マスク	スキンチェックによるマスクの選択と塗布	
5			
6	フェイシャルトリートメント	準備&クレンジング～仕上げ プロセス（60分）	
7			
8			
9			
10		前日リハーサル	

2020年

区分：美容専門課程 1年度

教科名	メイクアップ	必修	単位	1単位	時間数	30時間
担当者	市山 倫子	実務経験	有	水曜日	3時間	
授業の概要	メイクアップ 【実務経験】美容師として、美容所勤務の経験					
履修ポイント	相モデルによるイメージアップメイク					
学習の目的	メイクの効果と目的を理解した上での基礎技術の習得					
学習の目標	メイクに関する知識と基礎技術の習得					
教科書及びその他の教材	日本理容美容教育センター教科書					
成績評価	確認試験 授業評価					

## 授業計画【メイク】

回	主題（項目）	授業内容	備考
1	メイク理論	小道具、顔の名称、スキンケア、ベースメイクアップ、色の選び方・ファンデーションの種類、スキントラブルテクニック	
2	化粧水～ファンデーション～パウダー	ファンデーションの種類、スキントラブルテクニック	
3	眉	効果と目的、アイブローテクニック	
4	アイシャドー	効果と目的、アイシャドーテクニック	
5	アイシャドー&アイライン	効果と目的、アイラインテクニック	
6	アイライン&アイラッシュカーラー&マスカラ	アイラッシュカーラー・マスカラテクニック	
7	口紅	効果と目的、リップブラシによるテクニック	
8	チーク・ハイライトシャドー	効果と目的 チーク・ハイライト・シャドーテクニック	
9	全体のバランス	左右対称に仕上げる	
10	メイクアップ	タイムアタック（40分）	

2020年

区分：美容専門課程 2年度

教科名	メイクアップ	選択必修	単位	1単位	時間数	30時間
担当者	市山 倫子	実務経験	有	水曜日	3時間	
授業の概要	メイクアップ 【実務経験】美容師として、美容所勤務の経験					
履修ポイント	相モデルによるイメージアップメイク					
学習の目的	サロンメイクの一般知識の習得 日常生活に相応しいメイク技術の習得					
学習の目標	ベーシックなメイクアップ料の使い方 日常生活に相応しいメイク技術の習得 SBS試験に合格					
教科書及びその他の教材	SBSメイクアップテキスト					
成績評価	最終確認時の技術習得度 SBS試験					

## 授業計画【メイク】

回	主題（項目）	授業内容	備考
1	ベースメイクアップ	化粧水～ファンデーション～パウダーまでの 復習・技術確認	
2	目元	アイシャドー・アイライン・マスカラ 眉の復習・技術確認	
3	リップ、仕上げ	リップ、チーク・ハイライトの復習・技術確認	
4	メイク仕上げ	全体のバランス・左右対称などのチェック	
5			
6			
7	タイムアタック	SBS試験プロセス	
8			
9			
10		前日リハーサル・最終確認	

2020年

区分：美容専門課程 1年度

教科名	着付け	必修	単位	1単位	時間数	30時間
担当者	市山 倫子	実務経験	有	水曜日	3時間	
授業の概要	留袖着付け 【実務経験】美容師として、美容所勤務の経験					
履修ポイント	相モデルによる体型補正					
学習の目的	和装のマナー 着付け技術の習得（留袖）					
学習の目標	和装に関する知識と基礎技術の習得					
教科書及びその他の教材	日本理容美容教育センターテキスト					
成績評価	確認試験 授業評価					

## 授業計画【着付】

回	主題（項目）	授業内容	備考
1	理論	着物の各部の名称、小物の種類と名称 着物・長襦袢のたたみ方、襟綴じ	
2	長襦袢	準備の仕方、補正の仕方、長襦袢の着せ方	
3			
4	留袖	着物の着せ方	
5			
6	袋帯	帯の結び方（二重太鼓）	
7			
8	留袖着付け	留袖着付け・二重太鼓	
9			
10			技術確認

2020年

区分：美容専門課程 2年度

教科名	着付け	選択必修	単位	1単位	時間数	30時間
担当者	市山 倫子	実務経験	有	火曜日	3時間	
授業の概要	留袖着付け 【実務経験】美容師として、美容所勤務の経験					
履修ポイント	仕上がりの全体のバランスを見極める					
学習の目的	和装のマナー、礼装着付け技術の習得					
学習の目標	和装の知識の習得 留袖着付け技術の習得 SBS試験に合格					
教科書及びその他の教材	日本理容美容教育センターテキスト					
成績評価	最終確認時の技術習得度 SBS試験					

## 授業計画【着付】

回	主題（項目）	授業内容	備考
1	学科	着付けの目的、礼装、着物と季節、着物の種類、帯の種類 小物の種類、着物各部の名称、たたみ方	
2	留袖着付け	補整、長襦袢、留袖 相モデル	
3		”	
4		帯結び（二重太鼓）	
5		”	
6		タイムアタック （長襦袢まで15分・留袖着付け、帯結び30分）	
7		”	
8		”	
9		”	
10		”	

2020年

区分：美容専門課程 1年度

教科名	ネイル	必修	単位	1単位	時間数	30時間
担当者	伊澤 裕美	実務経験	無	水曜日	3時間	
授業の概要	ネイルケア基礎技術 カラーリング技術					
履修ポイント	マニキュアを知る					
学習の目的	爪の知識の習得 ネイルケア基礎技術、カラーリング技術の習得					
学習の目標	美容という幅広い分野の一つであるネイル技術について深く理解し、知識を習得させる。					
教科書及びその他の教材	日本理容美容教育センター教科書					
成績評価	確認試験 授業評価					

## 授業計画【ネイル】

回	主題（項目）	授業内容	備考
1	ネイルケア	テーブルセッティング 道具の名称、確認	
2		テーブルセッティング、手指消毒、爪のカット形状 ファイリングの実技	
3		爪のファイリングを相モデルで実技練習 実技練習後学科	
4		手指消毒～ファイリング、カラーリング 実技練習後学科	
5		”	
6		”	
7		ハンドマッサージ 理論と技術	
8		相モデルでのけあ・カラー・カラーリングの トータル練習 実技練習後学科	
9		”	
10		ネイル技術の総仕上げ 技術確認	

2020年

区分：美容専門課程 2年度

教科名	ネイル	選択必修	単位	1単位	時間数	30時間
担当者	伊澤 裕美	実務経験	無	火曜日	3時間	
授業の概要	ネイルケア技術 カラーリング技術					
履修ポイント	試験を意識して技術と知識の習得					
学習の目的	爪についてさらに知識を広げる 即戦力となれるよう、知識、技術共に向上					
学習の目標	SBS試験に合格					
教科書及びその他の教材	SBSネイルテキスト					
成績評価	最終確認時の技術習得度 SBS試験					

## 授業計画【ネイル】

回	主題（項目）	授業内容	備考
1	ネイルケア受験の心得	ネイル道具確認 ケア・カラーリングの手順確認	
2	実技確認	相モデルでケア・カラーリングの実技練習	
3		実技練習後学科	
4		”	
5		”	
6		”	
7		”	
8		モデルを使って通し練習 仕上がり確認	
9		モデルを使って通し練習 仕上がり確認	
10		モデルを使ってリハーサル 最終確認と試験準備	

2020年

区分：美容専門課程 1年度

教科名	接遇・マナー	必修	単位		時間数	12時間
担当者	美馬マサコ	実務経験	有	水曜日・木曜日	6時間	
授業の概要	サービス業に必要な接遇・マナー 接遇・マナーとは 【実務経験】美容師として、美容所勤務の経験					
履修ポイント	ロールプレイングを重点的に接客マナーを実践する					
学習の目的	接遇・マナーの大切さや美容師としてどのような接遇・マナーが必要なのか そして人を思いやる心の大切さや笑顔の大切さ、人の大切さを理解してもらう					
学習の目標	人前に出た時、とっさの時にも笑顔で対応できるように、そして即戦力となれるよう 技術を身につけさせる					
教科書及びその他の教材	SBSテキスト					
成績評価	接遇・マナー試験					

## 授業計画【接遇・マナー】

回	主題（項目）	授業内容	備考
1	第1章	学校内でのマナーを考えよう 周りの人への心がけ	
2		学校のルール	
3	第2章	身だしなみ・表情・立ち方歩き方・お辞儀の重要性	
4		言葉づかい 尊敬語・謙譲語・丁寧語	
5		クッション言葉 挨拶	
6		自分を表現する	
7		ロールプレイング グループに分かれてサロンスタイルの実演	
8		"	
9		"	
10	接遇・マナー試験	接遇・マナー筆記試験	
11		接遇・マナー実技試験	
12		"	

2020年

区分：美容専門課程

教科名	美容総合実習	必修	単位	30単位	時間数	468時間（2年間）
担当者	伊澤裕美・松家依里 市山倫子・熊野正人	実務経験	有	月～金	3時間	156回
授業の概要	美容技術の理論を踏まえ、美容の知識、技術を習得する 【実務経験】美容師として、美容所勤務の経験					
履修ポイント	実際に様々な技術を行うことによって、技術の奥深さや社会人となった時の心構えな					
学習の目的	就職後、即戦力となれるよう美容技術と知識を修得する 美容技術に対して、より一層興味を持ち向上心を養う					
学習の目標	即戦力となれるような技術の修得度を確認する 社会人としての心構えを身につける					
教科書及びその他の教材	日本理容美容教育センター教科書 カラー剤・パーマ剤・シャンプー剤等、美容技術に関わる薬剤、美容機器					
成績評価	技術の項目ごとに技術の習得度を確認する					

## 授業計画【美容総合実習】

回	項目	授業内容	備考
1～10	パーマントウェーブ	パーマントウェーブ薬剤の種類、使用方法  注意点等の説明 ウィッグを使用して様々なワインディング 実際にパーマントウェーブ薬剤を用いて パーマをかける パーマ剤の放置タイムの確認 カールチェックの方法	
11～30	カラー・ブリーチ	カラー剤の種類、使用方法、注意点等の説明 ブリーチ剤の使用法、注意点等の説明 ウィッグを使用してブロッキングの取り方、 刷毛の使用法、塗布の仕方等、行う ホイルワーク、グラデーション	
31～60	アップスタイル	アップスタイルの基礎技術（ロングヘアの 梳かし方、まとめ方、ピニング） アップヘアスタイルを仕上げる 三つ編み、編み込み技術 スキ毛を使ってアップスタイル スキ毛の作り方、留め方	
60～95	カット・ブロー	ベーシックカット ワンレングス グラデーション レイヤー カット終了後ブローレッスン	
96～156	シャンプー	シャンプー理論 シャンプー技術の実際 シャンプー手技の手順確認 相モデルでシャンプー実習 （お互いに技術の確認とチェック）	
	トリートメント技術	トリートメント技術の指導 トリートメント剤の塗布の仕方 加熱の仕方	
	ブロー	ブローレッスン 人頭に対するドライヤーの使用法、注意点等 アイロン技術指導	

2020年

区分：美容専門課程 【Wライセンスコース】

教科名	美容技術理論	必修	単位	4単位	時間数	120時間
担当者	伊澤裕美・熊野正人	実務経験	有	水	3時間	40回
授業の概要	美容の様々な技術の理論を認識する 理論の重要性の確認 【実務経験】美容師として、美容所勤務の経験					
履修ポイント	美容の様々な技術を理論に基づいて体験させる					
学習の目的	技術には全て理論上に成り立っていることを認識させる 理論を知ること、技術の上達につながってくることを認識させる					
学習の目標	理論を知ること、技術がスムーズに行えているか より美容技術に向上心を持ち、追究する					
教科書及びその 他の教材	日本理容美容教育センター教科書 カラー剤・パーマ剤・シャンプー剤等、美容技術に関わる薬剤、美容機器					
成績評価	期末試験・確認テスト・授業評価					

## 授業計画 【美容技術理論】Wライセンスコース

回	項目	授業内容	備考
1	第1章 美容技術概論・基本的な姿勢	理論の必要性 美容とは・美容技術を行うにあたって大切なこと	
2	美容用具について	美容用具の特徴と名称の理解	
3		美容用具を実際に使ってみて、美容用具の必要性を理解	
4		美容用具機械において、その取扱い方とどのような効果があるかを説明説明	
5		第1章 確認テスト	
6	第2章 シャンプー	シャンプー理論 シャンプー剤の種類	
7		毛髪タイプ別シャンプー剤の種類 毛髪の汚れ、傷みの原因	
8		シャンプー剤、リンス、コンディショナー、 トリートメントの成分と違い	
9		スカルプトリートメントの種類と効果について 頭皮タイプ別トリートメントの種類と違い	
10		相モデルでスカルプマッサージを行う 手技と効果について 第2章 確認テスト	
11		学期末テスト	
12		学期末テストの解答と解説	
13	第3章 ヘアデザイン	錯視図や動画を見て楽しさを与える ヘアスタイルのバランスについて	
14		ヘアデザイン画の作成	
15	第4章 ヘアカットイング	美容刃物の材料、美容刃物に適した条件	
16		カットイングの定義、目的、カットイングに関する 道具類の説明と正しい姿勢について	
17		カットイングの際のブロッキングとスライスの種類 ラインの選定方法・顔面ポイントとの関係	
18		ベーシックなカット技法の種類と解説 シザーズによるカット技法と特徴の説明	
19		レーザーによるカット技法の種類と特徴の説明 第4章全体の復讐	
20		第4章 確認テスト	

## 授業計画 【美容技術理論】Wライセンスコース

回	項目	授業内容	備考
21	第5章 パーマントウェーブ	パーマントウェーブの歴史と形成の仕組み パーマ剤の種類と成分、その特徴について	
22		パーマントウェーブ技術の手順と同時に注意 事項の説明とロッドの選定とプレ処理について	
23		縮毛矯正剤について 第5章 確認テスト	
24	第6章 ヘアセッティング	ヘアセッティングとは～ヘアウェーピング ヘアウェーブの各部の名称 ウェーブとピンカールの関係	
25		カールの各部の名称 カールの分類を実技と比較 しながら説明 カールスペースの名称と特徴	
26		カールピニングと各種カールの説明 ヘアセッティング 確認テスト	
27		ローラーカーリングの特徴 ローラーカーリングとホットカーラーの違いについて	実際にローラーカールとホット カーラーを巻いてみる
28		ヘアアイロンについて 第6章 確認テスト	
29	第7章 ヘアカラー	ヘアカラー剤の種類と特徴を染毛のメカニズムを参照 しながら進める	
30		パッチテストの必要性 カラー剤の成分	
31		染毛剤使用時の注意事項について カラーサークル作成	
32		アンダートーンについて 相モデルで毛髪診断 毛髪チェックシートを使用して希望職の選定	
33		ヘアブリーチについて 第7章確認テスト	
34	第11章 日本髪	日本髪の種類と特徴、日本髪の各部の名称 日本髪の結髪道具、結髪技術の手順	
35	第12章 着付けの理論と技術	礼装について 既婚女性、未婚女性、男性の礼装	
36		着物の種類と季節 着物の各部の名称	
37		帯の種類と特徴 着付けに関わる小物類	
38		補正について 婚礼衣装と着付けについて	
39		まつ毛エクステンション まつ毛エクステンションと注意点	
40		第11章、12章確認テスト	

2020年

区分：美容専門課程 【Wライセンスコース】

教科名	美容実習	必修	単位	23単位	時間数	690時間
担当者	伊澤裕美・松家依里 市山倫子・熊野正人	実務経験	有	月～金	3時間	230回
授業の概要	美容の様々な技術を理論に基づいて実習を行う 【実務経験】美容師として、美容所勤務の経験					
履修ポイント	反復練習を行うことによって、技術の習得を早める					
学習の目的	国家試験課題である事を十分理解し、且つ理論に基づいて実習するにあたり、人頭の骨格等、将来的に役立てるよう指導を行う					
学習の目標	国家試験課題を理解し、合格を意識できるよう指導を行う					
教科書及びその 他の教材	日本理容美容教育センター教科書					
成績評価	技術の項目ごとに技術の習得度を確認する					

## 授業計画【美容実習】Wライセンスコース

回	項目	授業内容	備考
1～2	ワインディング ブロッキングの取り方	ウィッグの取り扱い方～ 1 2ブロッキングの取り方	
3～8	上巻き  下巻き	ブロッキングタイム 5分  上巻き シェーピング、スライス、巻き方、 ラバーの掛け方 下巻き シェーピング、スライス、巻き方、 ラバーの掛け方	
9～10	センター	センターをバランスよく巻く	
11～16	フロント～右側・サイド	角度、バランスに注意しながらフロントを仕上げる ラウンド部分のスライスラインの確認 ラウンド部分のステムの角度、バランスを見ながら巻く バックサイド部分のスライスの角度、ステムの角度、 バランスを見ながら巻く サイド部分のスライスの角度、ステムの角度、 バランスを見ながら巻く	
17～23	左側	ラウンド部分のスライスの角度、ステムの角度、 バランスを見ながら巻く バックサイド部分のスライスの角度、ステムの角度、 バランスを見ながら巻く 全頭を仕上げる	
24～50	全頭	ブロッキングタイム5分 ブロッキング確認 全頭を仕上げる	
51～68	全頭	ブロッキング3分 ブロッキング確認 ワインディング確認	
69	確認テスト		
70～77	ワインディング	正しいスライス、角度で時間内に全頭を巻く ブロッキング1分	
78～79	確認テスト	全体のバランス、構成の確認	
80～90		ワインディング全頭タイム 徐々にに国家試験タイムにする	
91～92	オールウェーブ	器具・用具について 器具・用具の名称、準備方法、ローション塗布	

## 授業計画【美容実習】Wライセンスコース

回	項目	授業内容	備考
93～100	ウェーブ・リッジ作成	ウィッグのシェーピング（半円を作る） フィンガーウェーブ技術 リッジ作成技術	
101～ 120		フィンガーウェーブ作成（オールウェーブ）  1段目～4段目  1段目～5段目	全体のバランスや細かいところの確認をする
		1段目～6段目	全体のバランスや細かいところの確認をする
121	確認テスト	ウェーブ構成・バランス・シェーピング・リッジ	
122～ 127	基礎技術構成 クロッキノールカール	1段目～6段目フィンガーウェーブ 7段目クロッキノールカールの作成 全頭タイム40分	
128	確認テスト	ウェーブ構成・バランス・シェーピング・リッジ ピンカールの確認	
129～ 153	スカルプチュアカール  リフトカール（右）  リフトカール（左）  メイポールカール	理論と基礎技術 オールウェーブ1段目のスカルプチュアカール作成  1段目～2段目 ピンカールとウェーブの構成について 1段目～3段目 ピンカールとウェーブの構成について  1段目～4段目 リフトカールの作成  1段目～5段目 リフトカールの作成  1段目～6段目 メイポールカールの作成 全頭仕上げ 全体のバランスや構成、ピンカールとウェーブの 接続等、確認	

## 授業計画【美容実習】Wライセンスコース

回	項目	授業内容	備考
154	確認テスト	タイム40分 全体のバランスや構成、ピンカールとウェーブの接続と構成の確認	
155～ 178		タイムの短縮40分から25分 全頭仕上げ 全体のバランスや構成、ピンカールとウェーブの接続、リッジ、シェーピングの確認	
179	確認テスト	タイム25分	
180	カット	理論と基礎技術 ブロッキングの取り方	
181～ 200		ブロッキング1分 ガイドのカッティング 全体のつながり、ヘムライン、長さの確認	
		ブロッキング1分ガイドから1セクションめのカッティング	
		全頭のカッティング 長さの確認、展開図を見ながら全体の確認	
201	確認テスト	タイム30分 全体のつながり、全体のバランス、ヘムライン	
201～ 229		タイムの短縮 全体のチェック	
230	確認テスト	タイム20分 全体のチェック	

2020年

区分：美容専門課程 【メイク】美容ダブルライセンス科

教科名	メイクアップ	必修	単位	1単位	時間数	30時間
担当者	市山 倫子	実務経験	有	水曜日	3時間	
授業の概要	メイクアップ 【実務経験】美容師として、美容所勤務の経験					
履修ポイント	相モデルによるイメージアップメイク					
学習の目的	メイクの効果と目的を理解した上での基礎技術の習得					
学習の目標	メイクに関する知識と基礎技術の習得					
教科書及びその 他の教材	日本理容美容教育センター教科書					
成績評価	確認試験 授業評価					

## 授業計画【メイク】

回	主題（項目）	授業内容	備考
1	メイク理論	小道具、顔の名称、スキンケア、ベースメイクアップ、ファンデーションの種類、スキントラブルテクニック	
2	化粧水～ファンデーション～パウダー	ファンデーションの種類、スキントラブルテクニック 色の選び方・テクニック	
3	眉	効果と目的、アイブローテクニック	
4	アイシャドー	効果と目的、アイシャドーテクニック	
5	アイシャドー&アイライン	効果と目的、アイラインテクニック	
6	アイライン&アイラッシュカーラー&マスカラ	アイラッシュカーラー・マスカラテクニック	
7	口紅	効果と目的、リップブラシによるテクニック	
8	チーク・ハイライトシャドー	効果と目的 チーク・ハイライト・シャドーテクニック	
9	全体のバランス	左右対称に仕上げる	
10	メイクアップ	タイムアタック（40分）	

2020年

区分：美容専門課程 【ネイル】 美容ダブルライセンス科

教科名	ネイル	必修	単位	1単位	時間数	30時間
担当者	伊澤 裕美	実務経験	無	水曜日	3時間	
授業の概要	ネイルケア基礎技術 カラーリング技術					
履修ポイント	マニキュアを知る					
学習の目的	爪の知識の習得 ネイルケア基礎技術、カラーリング技術の習得					
学習の目標	美容という幅広い分野の一つであるネイル技術について深く理解し、知識を習得させる。					
教科書及びその他の教材	日本理容美容教育センター教科書					
成績評価	確認試験 授業評価					

授業計画【ネイル】

回	主題（項目）	授業内容	備考
1	ネイルケア	テーブルセッティング 道具の名称、確認	
2		テーブルセッティング、手指消毒、爪のカット形状 ファイリングの実技	
3		爪のファイリングを相モデルで実技練習 実技練習後学科	
4		手指消毒～ファイリング、カラーリング 実技練習後学科	
5		”	
6		”	
7		ハンドマッサージ 理論と技術	
8		相モデルでのけあ・カラー・カラーリングのトータル練習 実技練習後学科	
9		”	
10		ネイル技術の総仕上げ 技術確認	

2020年

区分：美容専門課程 【接遇・マナー】 美容ダブルライセンス科1年

教科名	接遇・マナー	必修	単位		時間数	12時間
担当者	美馬マサコ	実務経験	有	水曜日・木曜日	6時間	
授業の概要	サービス業に必要な接遇・マナー 接遇・マナーとは 【実務経験】美容師として、美容所勤務の経験					
履修ポイント	ロールプレイングを重点的に接客マナーを実践する					
学習の目的	接遇・マナーの大切さや美容師としてどのような接遇・マナーが必要なのか そして人を思いやる心の大切さや笑顔の大切さ、人の大切さを理解してもらう					
学習の目標	人前に出た時、とっさの時にも笑顔で対応できるように、そして即戦力となれるよう 技術を身につけさせる					
教科書及びその 他の教材	SBSテキスト					
成績評価	接遇・マナー試験					

## 授業計画【接遇・マナー】

回	主題（項目）	授業内容	備考
1	第1章	学校内でのマナーを考えよう 周りの人への心がけ	
2		学校のルール	
3	第2章	身だしなみ・表情・たち方歩き方・お辞儀の重要性	
4		言葉づかい 尊敬語・謙譲語・丁寧語	
5		クッション言葉 挨拶	
6		自分を表現する	
7		ロールプレイング グループに分かれてサロンスタイルの実演	
8		”	
9		”	
10	接遇・マナー試験	接遇・マナー筆記試験	
11		接遇・マナー実技試験	
12		”	

2020年

区分：美容専門課程 【Wライセンスコース】

教科名	美容総合実習	選択必修	単位	7単位	時間数	210時間
担当者	伊澤裕美・松家依里 市山倫子・熊野正人	実務経験	有	火	3時間	70回
授業の概要	美容の様々な技術を理論に基づいて実習を行う 【実務経験】美容師として、美容所勤務の経験					
履修ポイント	美容の様々な技術を体験することによって技術の奥深さを知る					
学習の目的	就職後、即戦力となれるよう美容技術と知識を修得する 美容技術に対して、より一層興味を持ち向上心を養う					
学習の目標	即戦力となれるような技術の修得度を確認する 【実務経験】美容師として、美容所勤務の経験					
教科書及びその 他の教材	日本理容美容教育センター教科書 カラー剤・パーマ剤・シャンプー剤等、美容技術に関わる薬剤、美容機器					
成績評価	技術の項目ごとに技術の習得度を確認する					

## 授業計画【美容総合実習】Wライセンスコース

回	項目	授業内容	備考
1～3	接遇マナー	接遇とは 言葉使い（敬語・謙譲語・尊敬語） サロン形式でロールプレイ	
4	接遇試験	筆記試験と実技試験	
1	メイクアップ メイク理論	道具、顔の名称、スキンケア、ベースメイクアップ、 ファンデーションの種類、スキントラブルテクニック	
2	化粧水～ファンデーション パウダー	ファンデーションの種類、スキントラブルテクニック 色の選び方とテクニック	
3～5	眉・アイシャドー・アイライン	効果と目的、それぞれのテクニック	
6	アイラッシュカーラーとマスカラ	それぞれのテクニック	
7～8	口紅・チーク・シャドー・ ハイライト	効果と目的、それぞれのテクニック	
9	全体のバランス	左右対称に仕上げる	
10	メイクアップ	タイム40分	
1	ネイル ネイルケア	テーブルセッティング、道具の名称、確認	
2		テーブルセッティング、手指消毒、爪のカット形状 ファイリングの実技	
3		爪のファイリングを相モデルで実技練習 実技練習後学科	
4～6		手指消毒～ファイリング、カラーリング 実技練習後学科	
7		ハンドマッサージ 理論と実技	
8～9		相モデルでケアカラー・カラーリングのトータル練習	
10		ネイル技術の総仕上げ 技術確認	

## 授業計画【美容総合実習】Wライセンスコース

回	項目	授業内容	備考
1～2	アップスタイル	アップ理論 アップスタイルに取り掛かる前のウィッグの仕込み方法 ウィッグの毛髪の梳かし方 (ブラシ、コームの取り扱い方) 頭部各ポイントとバランス	
3		毛髪を一束にまとめる トップ、バックポイント、ネープと位置を変えて まとめてみる ヘアゴムの締め方、スプレーの使用	
4～5		シニヨンを作る ポイントを変えて、また様々なシニヨンを作る ピンの打ち方	
		面を整える ブラシ、コームの使い方	
6		スキ毛の作り方 スキ毛を使ってボリュウムを出す、整える	
7～8		アップスタイルの基本 夜会巻きスタイルを作る、前髪の整え方	
9～10		アップスタイルの作成	
1	カット ワンレングス	ワンレングス理論 ウィッグのガイドの取り方、作り方 ガイドカット	
2～3		カット姿勢、シザーズの角度、取扱いに注意 しながらカット	
4～5		ワンレングスをブローする ブローの基本、ドライヤー、ブラシの取り扱い方	
6		ブローしたワンレングスのチェックカット方法	
7～9		ワンレングスカット&ブロー	
1		グラデーション	グラデーションカット理論 グラデーションカットのガイドの取り方
2～3	基本的なグラデーションカット スライスの角度等に注意しながらカット		
4～5	グラデーションの角度を変えながらカット		

## 授業計画【美容総合実習】Wライセンスコース

回	項目	授業内容	備考
6～7	グラデーション	グラデーションカット&ブロー	
1	レイヤー	レイヤーカット理論 レイヤーカットガイドの取り方、作り方	
2～3		基本的なレイヤーカット	
4～5		レイヤーカット&ブロー	
1	シャンプー	シャンプー理論 シャンプー手順の説明	
2		ウィッグを使って手順練習	
3～5		相モデルで通しで練習 シャンプー後はブロー練習	
6		相モデルで確認しあいながら練習 シャンプー後はブロー練習	
7～10		相モデルでチェックシートを利用しながら 手順、力等の確認をする シャンプー後はブロー練習	
11～15		相モデルでチェックしあいながら練習 ヘッドマッサージ、ブロー練習	